

平成 29 年 11 月 11 日(土)14:00~17:00
大阪歯科大学創立 100 周年記念館 4 階大講義室
540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-17

平成 29 年度
大阪歯科学会大会・大阪歯科大学同窓会学術研修会

大阪歯科大学 医療保健学部および 大学院医療保健学研究科口腔科学専攻 (修士課程)の教育・研究

大阪歯科大学理事長・学長 川添 堯彬
大阪歯科大学同窓会会長 生駒 等

大阪歯科大学
医療保健学部

講演 小正 裕 先生

大阪歯科大学 医療保健学部 学部長

柿本 和俊 先生

大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科 学科長

和唐 雅博 先生

大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科 学科長

歯科衛生士および歯科技工士、いわゆるコ・デンタルは、これまで歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助の三大業務などを通して、また歯科治療に用いられるさまざまな装置を製作して患者さんの口腔の健康を支えてきました。近年全身の健康維持における口腔ケアの重要性が次々に唱えられ、患者さんの生きる喜びを支えるという大切な使命を担うようになっていきます。

歯科衛生学から口腔保健学という大きなフィールドに立つ今、歯学、保健学、看護学、医学、福祉学、統計学といった学際的観点から歯科医療を見つめ、探求心とホスピタリティ豊かな人材を育て、また歯科技工から口腔工学への大きな転換期の今、歯学、理工学、医学といった学問分野を超えて総合的に歯科医療を見つめ、歯科医療技術の発展に寄与できる人材を育てることが喫緊の課題です。今年、本学では専門学校を廃止することとして、時宜を得て4年制大学(新学部:医療保健学部)を開設しました。また、平成30年4月には大阪歯科大学大学院医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)が設けられ、より充実した教育・研究機関が生まれます。

そこで医療保健学部の学部長、口腔保健学および口腔工学の学科長に、学士課程および修士課程の設置の意義とその背景、さらに新学部の実際ならびに将来展望について講演していただきます。